

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立石巻小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ( )

所在地 〒441-1112  
豊橋市石巻町西浦 16 番地

E-mail ishimaki-e@toyohashi.ed.jp

Website

児童生徒数 男子 105 名 女子 103 名 合計 208 名  
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、「郷土学習」を研究主題として、研究推進を行った。郷土学習で目ざす子どもの姿と ESD 教育における豊橋市の目ざす子ども像が同じであると捉え、郷土学習の実践を通して「郷土を愛し、思いを深める子どもの育成」を目標とした。

具体的には、なぎの木学習（生活科・総合的な学習）・伝統的な特別活動を柱に、

- ①環境に関わる教育
- ②生物多様性に関わる教育
- ③伝統文化に関わる教育

を行った。

### (1) 環境に関わる教育

#### ① 学校林でアスレチックを作って遊び、保育園児を招待する。(1年生)

石巻山の中腹に学校林がある。そこに、山の先輩（地域のお年寄り）の力を借りて、自分たちの遊び場を作って遊ぶ活動を行った。楽しく遊んだあと、保育園の子どもたちを招待することになり、自分たちが作った遊び場を紹介したり、一緒に遊んだりした。



## (2) 生物多様性に関わる教育

### ① 石巻山に育つ希少な植物や動物を調べ、伝える。(4年生)

石巻山は、石灰岩の山であるため絶滅危惧種のカタツムリの仲間が多くいる。そのことを学び、下級生や保護者にも学んだことを伝えるため、「マイマイ博物館」を作って全校児童や保護者に紹介した。

### ② 地域の川で捕った生物を学校で飼育する。(2年生)

子どもたちは、探検で出会った生き物たちに興味をもち、「もっと生き物をとって飼ってみたい」と意欲をもった。地域の方たちに「川の先輩」としてご協力いただき、ザリガニやウナギなど多くの生き物をとることができた。その生き物を飼育することで、命を大切にすることはどういうことなのか考えを深めることができた。



## (3) 伝統文化に関わる教育

### ① 運動場の特設ステージで野外劇を上演する。(全校児童)

郷土に伝わる民話をもとに創作された、野外劇三部作のうち、今年度は『人』をテーマにした「笛吹きジンゴ」を上演した。野外劇自体は30年以上の歴史をもつ伝統行事で、全校児童で上演している。今年度の演目「笛吹きジンゴ」は伝統的に夜間に上演している作品である。保護者はもちろん、地域のお年寄りにも招待状を送り、多くの方が参加してくださった。

### ② 郷土の祭りについて学び、お囃子を体験する。(3年生)

地域には、信仰の山『石巻山』の北側と南側に2つの神社がある。それぞれの地域で伝統的な祭りが継承されている。社会科と総合的な学習の中で歴史を学び、氏子の人たちの思いを知り、大切に受け継ぎ守っていこうという気持ちを育てている。自分たちなりにできることを考え、お囃子をやりたいという思いを深め、講師の方をお招きし、体験をした。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

■ 1. 環境	□ 2. エネルギー	□ 3. 防災	■ 4. 生物多様性
□ 5. 気候変動	□ 6. 国際理解, 文化多様性	■ 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	□ 8. 人権・平和
□ 9. 健康・福祉	□ 10. 食育	□ 11. 持続可能な生産と消費	□ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名）

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

なぎの木学習（生活科・総合的な学習）を軸とし、各教科・領域にまたがった横断的な学習を展開している。各学年それぞれが「郷土学習石巻プラン」を作成し、年度当初に計画を立てる。必要な「ひと・もの・こと」などの計画をたて、子どもたちに出会わせるようにしている。年度末には実践のふり返りとともに引継ぎ事項を示したデータを作成し、次年度以降に確実に学習内容や改善点などを引きつづけるようにしている。

③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

地域教育ボランティアコーディネーターと校内コーディネーターが連携をし、郷土学習石巻プランをもとに、子どもたちと地域の「ひと・もの・こと」とどのような目的でどのような出会わせ方をするかを相談する。その後、担任と地域の方とで子どもの願いやより有効な「ひと・もの・こと」への出会わせ方について情報交換をする。また他の学年の学習内容等がわかるように校内掲示板等を利用するなど、発信交流活動を位置づけている。

④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

学校評議員からも郷土学習について継続的に評価をいただいている。同時に地域教育ボランティアコーディネーターと連携をして、地域教育ボランティアの方からの声をいただき、教育活動に反映をさせている。地域ボランティアの方は年に2回集まっており、5月には今年度の活動についての説明と協力の依頼をし、年度末に今年度の取り組みについてご意見をいただいている。課題としては、ご協力いただける方の世代交代など、持続可能な取り組みにするために引継ぎ体制の確立を図ることが挙げられる。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

今年度ユネスコスクール豊橋大会2日目のA分科会の実践発表校として総合的な取り組みの実践を発表させていただいた。これまでの郷土学習で培った子どもたちの姿の具体を示し、多くの方々から称賛の声をいただくことができた。研究協議会では、子どもたちのやる気のスイッチが入った瞬間について反応が多くあった。参加者の反応から、本校の実践の良さに改めて気づくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ，大学，E S D活動支援センター，E S Dコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

地域の保育園との連携。年長組との石巻山での交流活動。  
地域の農業団体の代表者の方にお話をいただき，地域の農業の現実について理解を深める。  
地域の集合住宅で，お年寄り同士の交流活動を進めている民生委員の方にお話をいただき，地域の高齢化について理解を深める。その後，地域の「ふれあいサロン」に参加し，自分たちができることを実践する。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

子どもたちは国内外のユネスコスクールとの交流をしていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について，特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

保育園の子たちとの交流をすることで，異学年交流が図れたり，地域の方との交流を深めることで，地域の「ひと・もの・こと」に対する理解が深まったりした。そうすることで，子どもたちが地域の良さを授業の中で語ることができるようになってきている。また地域の方も子どもたちとの関わりを楽しみにしていて，子どもと地域の双方向のよい関係ができてつある。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本校は平成 25 年に市教育委員会から「郷土学習」の研究委嘱を受け，平成 27 年度に研究発表を行った。それから 2 年たった現在でも，郷土学習は少しずつ形を変えながら継続をしている。地域資源の発掘や校内引継ぎ体制などの成果であり，地域の方からも「来年度はどうしようか？」と逆に声をかけていただくこともある。まさに持続的に活動が続いており，E S D の理念に一致するものであると考える。

平成 30 年度の活動も，今年度の郷土学習を引き続き継続し，地域の方とともに歩む石巻小学校でありたいと思う。